

すき込みによる利用自粛牧草の農地還元処理の手順

作業	作業の内容
<p>① 前処理</p>	<p>すき込む牧草を1ロールごとに放射能濃度の測定を行い、農地還元の基準を満たす(400ベクレル以下)の牧草を選ぶ。</p> <p>ロールラップで保管されている利用自粛牧草を草地にすき込むため、ラップを剥がし、牧草裁断機で細かく裁断する。 ※飛散防止のため、パイプハウス内で作業を行う。</p> 
<p>② 牧草の散布</p>	<p>細断した牧草をマニアスプレッダで草地に均一になるように散布する。</p> 
<p>③ すき込み</p>	<p>散布した牧草をプラウ(30cm深耕)またはロータリー(15cm深耕)で農地にすき込む。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="331 1500 874 1899">  <p data-bbox="414 1915 766 1960">プラウ耕(30cm深耕)</p> </div> <div data-bbox="928 1500 1471 1899">  <p data-bbox="1005 1915 1404 1960">ロータリー耕(15cm深耕)</p> </div> </div>

④ 草地の再生

牧草をすき込んだ農地を、草地として復元するため、ディスクハローやロータリーで碎土・整地する。



その後、草地に堆肥・肥料を加え、牧草の種を撒き、鎮圧する。



マニアスプレッダでたい肥を散布



播種